

## ルミコの色を使い分け

### 「ルミコの色は潮の色に合わせる！」

ルミコは暗い海中で獲物を探す魚にエサの位置を知らせるために開発された化学発光体。人間の居場所近くまで捕食にやってきてナーバスになっている魚たちに警戒されないよう、生物発光の明るさに調整されているので魚を驚かすことはない。仕掛けのチモト上20cmくらいの位置に取り付ければ暗い中で仕掛けをつかむのにも便利だ。ルミコにはその体積を利用して仕掛けを潮に乗せる役目もあるが、潮流が速くて仕掛けが浮き上がる時は、G3～G5程度のガン玉で浮力を相殺するようお勧めする。日光は海中で急激に減衰するので、通常で水深40m以上、明るい晴天や澄み潮でも水深80m以上から夜と同じくらいの暗さになる。夜釣りだけでなく、日中の船釣りにも自発光するルミコが集魚効果を発揮する。

#### イエロー

明るい光を嫌わないメバルやカサゴ用に調整された光。曇天や夕暮れ時、視力の弱いカワハギにも効果的。

#### グリーン

潮の色が緑がかっている沿岸では緑色の光が透過しやすく、集魚効果を発揮する。

#### ブルー

外洋や澄み潮では青い光が遠くまで届く。また魚類のほとんどは青い光を一番よく感じるため、オールマイティに使用可能。

#### アクアブルー

警戒心の強いチヌ(クロダイ)専用開発された淡い光。さらに効果を高めるために、付属の黒チューブで点発光にして使いたい。

#### オレンジ

オレンジ、レッドはカレイ漁師たちの要望で商品化された。かつてカレイは昼間しか釣れない魚だったが、ルミコオレンジの登場で夜釣りが始まった。

#### レッド

ルミコレッドを点発光で使えば、ルビー色のエビの眼をイミテートできて根魚ほかアオリイカにも効く。